

1 すべての副賞が決定しました！！

すべての副賞内容が決定しましたのでお知らせ致します。

⇒<http://www.u22procon.com/prize.html>

- 経済産業大臣賞……………5万円／1作品
- 商務情報政策局長賞……………3万円／1作品
- CSAJ会長賞……………3万円／1作品
- スポンサー企業賞
 - ・サイボウズ賞 レッドブル100本
 - ・オービックビジネスコンサルタント賞 Surface 2 64GB
 - ・首都圏コンピュータ技術者賞 商品券3万円分
 - ・useful賞（日本事務器（株）提供） AR.Drone 2.0 Elite Edition
-Snow Version 2台
 - ・日本マイクロソフト賞 Windows 8.1搭載8インチタブレット
 - ・ハンズラボ賞 図書カード10万円分
 - ・豆蔵ホールディングス賞 賞金10万円
- クラウド賞
 - ・ニフティクラウド賞 利用環境の1年間延長
- モバイル賞……………3万円

※各賞の受賞本数は最終審査会で決定します。

2 スポンサー企業ご紹介

今回はゴールドスポンサーから3社ご紹介いたします。

《ゴールドスポンサー》

◇首都圏コンピュータ技術者株式会社
会社URL⇒<http://mcea.co.jp/>

私たちは、ITエンジニアのための、ITエンジニアによる組織です。平成元年に15名でスタートし、現在は約2千名のフリーエンジニアを支援する組織になりました。日本中でライフスタイルや働き方の変化がみられますが、プロとして活躍するフリーエンジニアの働き方をもっと自由に豊かなものにするために、私たちはITエンジニアの新しい働き方を創造します。そしてフリーエンジニアと企業を繋ぎ、社会の発展に貢献し続けます。

◇日本事務器株式会社
会社URL⇒<http://www.njc.co.jp/>

保健・医療・福祉施設や大学、企業に対するIT機器の販売とシステム設計・構築、導入後の運用・保守に至るまで、トータルでITサービスの提供を行っています。
今やインターネットなどを活用した新しい技術による、新しいサービスの創出が必要な時代です。当社は本年2月に創業90周年を迎えましたが、これからも時代の変化に追従できる技術に取り組み、新しいサービスを提供していきます。

◇日本マイクロソフト株式会社
会社URL⇒<http://www.microsoft.com/ja-jp/default.aspx>

日本マイクロソフトの詳細については、下記をご覧ください。
<http://www.microsoft.com/ja-jp/mscorp/default.aspx>

3 委員のコンテストに対する想いをご紹介 <http://www.u22procon.com/committee.html>

▽和田 成史氏（株式会社オービックビジネスコンサルタント代表取締役社長）

現在、私たちの生活は、すごいスピードで進化しています。そして、この大きなイノベーションを実現しているのは、ネットでもスマートフォンでもなく、ソフトウェアです。
これからの製品やサービスの成功要因の半分以上はソフトウェアに依存していくことでしょう。「Made in Japan」日本のものづくりの優秀さを表した言葉です。このものづくりの大切さ、素晴らしさを、若い人たちに伝えてゆきたい。その為に私たちはU-22プログラミング・コンテストを支援してゆきます。「夢と希望」を持ったチャレンジを期待しています。

▽真杉 幸市氏（首都圏コンピュータ技術者株式会社 取締役会長）

当社は、「日本のITエンジニアはもっと幸せになれる！」のビジョンを掲げ、プログラマー、SEなどのITエンジニアの新しい働き方の創造を目指しています。
U-22プログラミング・コンテストには、プログラミングに取り組んでいる多くの若者に応募していただき、日頃の努力の結晶であるすばらしい作品が多数集まることを期待しています。中でも、団体で応募される作品には、システム開発でとても大切な「チームワーク」と、そのチームワークをまとめる「リーダーシップ」の成果としてのプログラムに期待しています。また、個人で参加される作品に対しては、作品開発に至る「新しい着想」とプログラミングの「独創性」に期待しています。

▽田中 啓一氏（日本事務器株式会社 代表取締役社長）

かつて、ローカルにあるデータや周辺機器を操作・制御するものだったプログラムが、今や、インターネットやモバイル、更にはIoTの出現により、世界中のすべての物をコントロール出来得る時代になってきています。また、クラウドやオープン化の波により、大企業や著名な研究所でなくても、誰も

が素晴らしいプログラムを作り得る環境も手に入ります。多くの制約条件が無くなってきた今、高い志と、それを実現する為の素晴らしいアイデアと、後はそれを成し遂げる為の実行力があれば、誰もがイノベーションを起こせます。
ぜひ、素晴らしい未来を感じさせる作品を作ってみてください。楽しみにしています。

▽樋口 泰行氏（日本マイクロソフト株式会社 代表執行役 社長）

デジタル機器はもちろんのこと、身の回りのさまざまな「もの」がインターネットにつながる時代、社会のあらゆる場面で利用されるソフトウェアやサービスを構築していくデベロッパー（開発者）の活躍がより求められています。
マイクロソフトは、私たちの未来をつくる若きデベロッパー（開発者）を積極的に支援します。

▽長谷川 秀樹氏（ハンズラボ株式会社 代表取締役社長）

僕は、プログラミングには夢があり、世界を変えることのできる仕事だと考えています。
かつては大学や企業でなければコンピュータを使えない時代でしたが、今はiPhoneアプリをはじめとして、やる気のある学生さんならいくらかでも勉強し、プログラミングできる環境が整っています。つまり、若い方でも社会人と同じ環境にいるという、スーパープログラマーが生まれやすい時代です。若い皆さんには、ぜひ、こういう機会で自分試しをしてほしいし、その挑戦を応援したい。そんな想いで今回、僕たちハンズラボは協賛させていただきました。
作品を楽しみにしています。がんばってください！

▽荻原 紀男氏（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

「プログラミング」で世界を変えませんか。
ITは私たちの生活を大きく変えてきました。今やIT無くして私たちの生活は成り立ちません。このITによる変革は、誰かの想いを「プログラミング」によって形にする事でもたらされました。「プログラミング」には大きな可能性があります。今までがそうであったように、今後も「プログラミング」による革新は起こるでしょう。
それを皆さんの手で起こしませんか。U-22プログラミング・コンテストをその足掛かりにしてください。皆さんの想像力、技術力を詰め込んだ、創意工夫に富んだ作品を期待しています。

事務局のつぶやき

ついに副賞が出揃いました！特にスポンサー企業賞は実用的なもの、ユニークなもの、ワクワクするものなど、企業によって特色が出ていますね～。
実は私たちも企業から副賞の決定が来るたびにビックリしてました（笑）
各社とも副賞にはかなり頭を悩ませたようではありましたが、結果的に企業のカラースタイルが出ていて、とても面白いラインナップになったなあと今からワクワクしています。
スポンサー企業賞は、各社の委員・メンバーが決定しますので、この副賞を狙いたい！と思ったら、委員のコメントの中にヒントがあるかもしれません！



【今後のスケジュール（予定）】

7月初旬	応募受付開始
8月22日（金）	申込締切（※17時まで）
10月5日（日）	最終審査会（特別講演含む）
	結果発表・表彰・懇親会
10月6日（月）	情報化月間記念式典
10月7日（火）～11日（土）	※経済産業大臣賞、商務情報政策局長賞の表彰 入選作品展示（CEATEC JAPAN 2014会場）



U-22プロコンメルマガは今後も最新情報をお届けします。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
U-22プログラミング・コンテスト運営事務局
〒107-00 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F
TEL：03-6436-5991 FAX：03-3560-8441 E-mail：u22-info@csaj.jp
公式Webサイト <http://www.u22procon.com/>